

2018年2月吉日

特定非営利活動法人

がんの早期診断・治療に必要な病理診断の総合力を向上させる会

米国 MD アンダーソン癌センターの研修コース

‘Advanced Molecular Pathology Course’の成果アップデート

「特定非営利活動法人がんの早期診断・治療に必要な病理診断の総合力を向上させる会」(略称：NPO 法人病理診断の総合力を向上させる会)は、表記研修コースの主旨に賛同し、この活動を後援しています。

同コースの研究成果をアップデートいたします。

米国 MD アンダーソン癌センター Advanced Molecular Pathology Course と長崎大学医歯薬総合研究科病理学/長崎病理医育成・診断センター (Nagasaki Educational and Diagnostic Center of Pathology: NEDCP; 福岡教授) とで行われた共同研究 (2015年開始分) の成果が以下の通りとなります。

Genome-wide gene expression changes in the normal-appearing airway during the evolution of smoking-associated lung adenocarcinoma.

Kantrowitz J, Sinjab A, Xu L, McDowell TL, Sivakumar S, Lang W, Nunomura-Nakamura S†‡, Fukuoka J†, Nemer G, Darwiche N, Chami H, Tfayli A, Wistuba II, Scheet P, Fujimoto J‡, Spira AE, Kadara H.

Cancer Prev Res (Phila). 2018 Jan 30. pii: canprevres.0295.2017. doi: 10.1158/1940-6207.CAPR-17-0295. [Epub ahead of print]

PMID: 29382653

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/29382653>

† 長崎大学医歯薬総合研究科病理学/長崎病理医育成・診断センター (Nagasaki Educational and Diagnostic Center of Pathology: NEDCP)

‡ 米国 MD アンダーソン癌センター Advanced Molecular Pathology Course

本件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

担当：NPO 広報委員 野島久美子 (サクラファインテックジャパン株式会社)

TEL:03-5643-2632 FAX:03-5643-3381 e-mail:byorinpo@pathcare.jp

MD アンダーソン癌センター Advanced Molecular Pathology コース

(MD アンダーソン AMP コース)の後援について

米国テキサス大学 MD アンダーソン癌センターは、癌部門で全米 1 位^{*1}とされる癌センターで、約 2 万人が働いています。最先端治療だけでなく最先端医療の研究開発にも優れていることから、世界各国から癌患者、研究者、研修医等の医療従事者が集まってきます。

MD アンダーソン癌センター教授陣の一人である藤本淳也先生は、2012 年より同施設にて、トランスレーショナルがん研究において、日本の病理を専門とする熱意ある臨床検査技師^{*2}に対する研修の機会を提供してきました。これは臨床検査技師がより深い知識を求めて留学するには、現状で公式な枠組みがない事を鑑みて始められました。

現在は、また定期的にリニューアルされる最先端の機器が多層的に、しかも病理学をベースにした最先端のがん治療プロジェクトで有機的に運用している環境を熱意ある学部大学生、大学院生、研究に興味のある病理医、病理学臨床検査技師、病理学ベースとした分子病理技術に興味のある方に提供されています。

1. 最先端の分子生物学的手法をいち早く習得し、日本の病理学研究室、検査室へのフィードバックを担いたい。
2. アcademiaにおけるトランスレーショナルリサーチのコンセプトを学び、基礎研究を現実の医療に応用し、医療の発展に貢献する流れを牽引したい。
3. 次世代の認定病理検査技師、学位取得研究者や若手医師に新たなキャリアパスを提示・指導したい。

MD アンダーソン AMP コースは、世界をリードできる人材育成の可能性を秘めています。このプログラムは、病理医不足と云われて久しい病理学を取り巻く現状の中で、病理医とともに病理を理解するMD、Non MDを「先端医療へトランスレーションする病理ベースの知識を共有する」チームの一員としてスキルアップをめざすことで、病理医不足の現状を側面から支援し、現場をボトムアップする方法として期待されます。

NPO 法人病理診断の総合力を向上させる会は、これまでの活動を経て MD アンダーソン AMP コースの主旨に賛同し、この活動を後援致します。

*1：アメリカ全土の 5000 病院の中から疾病毎に順位をつけたもので。アメリカ 3 大ニュース週刊誌の U.S. News & World Report' s より発表される
(<http://health.usnews.com/best-hospitals/rankings/cancer>)

*2：臨床検査技師（Ph.D コース大学院生、大学院修了修士保持者）、将来分子病理業務に携わる計画のある学位保持者



Junya Fujimoto M.D., Ph.D.

Assistant Professor, Translational Molecular Pathology

Thoracic Molecular Pathology Lab (Dr. Wistuba's Lab)

The University of Texas MD Anderson Cancer Center

Visiting Associate Professor

Department of Pathology

Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences

Visiting Associate Professor

Department of Molecular Pathology

Hiroshima University Institute of Biomedical and Health Sciences

Tel: (713) 745-4314

FAX:(713) 563-8821

Pager:(713) 606-0581

Mail address; JFujimot@mdanderson.org

http://faculty.mdanderson.org/Junya_Fujimoto/Default.asp